

【様式1】

地域情報化事業モデル開発・調査事業提案書

平成18年11月 日

財団法人ニューメディア開発協会
会長 森下 洋一 殿

地域情報化事業モデル開発・調査事業について以下のとおり提案いたします。

テーマ名

調査研究内容を端的に示す表現にて記入ください。全角30文字以内で記入ください。

調査研究内容の要約

・様式3の「調査研究概要」を要約して、120文字程度で記載ください。

対象分野及び技術分野

最も重要性が高い技術分野、対象分野を一つ記入ください。

技術分野：
対象分野：

代表幹事団体

法人名
代表者役職・氏名
住所：〒

印

連絡担当者名・所属役職：
住所：〒
TEL：
e-Mail：

FAX：

総括研究代表者

氏名（ふりがな）：
組織名：
所属役職
住所：〒
TEL：
e-Mail：

FAX：

【様式2】

コンソーシアムについて

主たる 実施場 所	名称：	所在地
-----------------	-----	-----

研究実施者

すべての研究実施者を記載ください。

組織名	所在地	所属部署・役職・ 担当者氏名・連絡先
	<p>〒都道府県名から記載。 ※会社の所在地と調査研究実施地が異なる時は、双方を併記し、調査研究実施地に下線を引いてください。</p>	<p>以下を記載してください。 所属部署： 役職： 担当者氏名： TEL： FAX： E-mail：</p>
		<p>所属部署： 役職： 担当者氏名： TEL： FAX： E-mail：</p>
		<p>所属部署： 役職： 担当者氏名： TEL： FAX： E-mail：</p>

【様式3】

調査研究概要書

<p>①テーマ名</p>
<p>②調査研究概要（様式4の①、②の内容を要約してください） 当該調査研究のポイントやアピールすべき内容を含めて作成してください。</p>
<p>③実用化計画（様式5①、②の内容を要約してください） 当該テーマの実用化へのポイントやアピールすべき内容（従来技術との違い、実用化への展開方策、必要資金想定・資金調達の方策、展開地域の状況等）を盛り込みつつ作成してください。</p>
<p>④他補助金、助成金等に関連する場合はその施策名 当該テーマの技術シーズや実用化への取組みに際して、他補助金や助成金、国及び地方公共団体、独立行政法人等の施策制度と関連がある場合には施策名（制度名・事業名）およびその制度を所管する機関の名称を記載ください。</p>
<p>⑤他補助金・助成金制度等への類似テーマ（同一の技術シーズを用いるなど）の申請等 本提案テーマと類似した調査研究もしくは実用化研究開発等において、過去に実施済み又は実施中若しくは申請中及び申請予定である場合は、その「テーマ名」「関係機関名」「事業名」をこの欄に記入するとともに、1プロジェクト毎に様式10（を作成の上、提案書に添付してください</p>
<p>⑥期待される効果 本提案テーマが実用化・普及した場合の効果について簡潔に記載ください。</p>

⑦調査研究の概念図

当該調査研究の目的・目標・方法・内容等を分かりやすく作成ください。

※ 様式3全体で3枚以内としてください。

【様式4】

調査研究内容等説明書

テーマ名
①調査研究の背景及び当該分野における技術動向 社会的・経済的・技術的背景を踏まえ、応募テーマに関連・類似する最新の技術水準や今後のトレンド、また、国内外のニーズをもとに、応募テーマとの関係や相違点について明瞭に記述してください。
②調査研究の目的・目標及び内容 本調査研究の目的・目標及び内容について具体的に記述ください。
③対象とする技術シーズ・知見 調査研究において対象とする技術シーズ・知見について記述ください。 ・ 本技術シーズ・知見について簡潔に説明をしてください。 ・ これまでに本技術シーズ・知見を用いて成果が上がった研究開発があれば、その活用の実績等について記述してください。
④調査研究項目と参加団体の役割分担 調査研究項目とその主たる実施機関名を記述ください。
⑤専門用語等の解説 今回の提案において使用した専門用語・略語等について、それぞれ簡潔に（1件最大10行程度まで）説明してください。

※ 様式4全体で4枚以内として下さい。

【様式5】

実用化計画説明書

テーマ名
①実用化により想定される優位性、市場規模 調査研究終了後に実用化を実現した場合に想定される優位性、市場規模について根拠背景を含め記述ください。
②実用化の実現に向けた取組みスキーム 実用化に向けた研究開発や事業化における製造・販売ルート等最終ユーザの関連を踏まえて、調査研究終了後の取組みスキームについて記述ください。

※ 様式5全体で2枚以内として下さい。

【様式6】

地域性説明書

テーマ名
①地域への貢献 実用化された場合において想定される、地域産業界への波及効果や地域社会への貢献に関して記述してください。 <ul style="list-style-type: none">・ 技術的波及効果（技術移転、技術集積等、技術力の向上効果等）・ 地域における新たな研究開発体制・連携の構築・ 地域の抱える社会的課題の解決に寄与するか。・ 地域において新たな価値観を創造し、新たなニーズの醸成に寄与するか。
②研究実施者の地域的連携 地域の技術研究開発能力や産業集積の活用など、研究実施者(特に民間企業)が地域的に連携していることを記述してください。また、研究実施者相互がどのように連携するかを記述ください。

【様式7】

総括研究者代表者（P L）研究履歴書

氏名				
①所属・役職				
②研究経歴				
③産学官共同プロジェクト経歴（5件以内） 記入例				
プロジェクト名	年度	産学官	産学	P L 経歴
該当個所に○を記載				
④当該調査研究テーマに関連した技術シーズに関連する主要論文、研究発表等				

【様式 8】

研究者一覧表

テーマ名			
研究員氏名	所属	役割分担	エフォート (%)
(総括研究代表者)		研究総括	
(研究員)			

注) エフォート欄には、各研究者の年間の全仕事を時間を 100%とした場合に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合 (%) を整数で記入してください

【様式9】

類似提案状況説明書

事業名称		例：〇〇補助金
事業主体 (関係省庁等)		例：〇〇〇〇省
テーマ名		
総括研究 代表者		
研究開発等実 施者		
提案額		千円
研究期間		
状況（実施済 み、実施中、 不採択、申請 中、申請予定）		
研究開発内容		
その他		
※本調査研究 との関連、 目標とする 開発製品等 の相違点を 中心に研究 開発分担等 の相違点に ついて簡潔 に説明して ください。		